

平成28年度 収益的支出 営業外費用 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 目：03 受託工事費	項：03 営業外費用 所属：建設改良課 担当者名：梅田

(単位：千円)

	28年度 A	27年度 B	増減(A-B)
予 算 額	3,618,000	4,558,000	△ 940,000

(単位：千円)

【事業内容】	計 画 額
1 ブルーライン新横浜駅と相鉄・東急直通線との交差・接続に伴う工事等受託	3,618,000

中期経営計画

(1) 事業目的・内容

横浜市西部・神奈川県中部と東京都心部とを直結する相鉄・東急直通線は、その整備を独立行政法人鉄道建設・運輸支援機構が行うこととなっております。

相鉄・東急直通線は市営地下鉄ブルーライン新横浜駅付近において交差する計画となっており、交差する範囲の設計及び工事は横浜市交通局が鉄道・運輸機構から受託するとともに、接続に伴う当局施設の改修等については鉄道・運輸機構の費用負担により工事を実施していくことで基本的に同意しています。

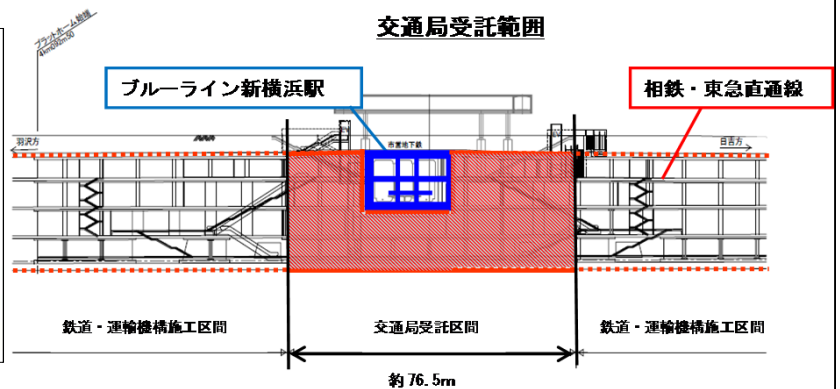
平成31年4月の相鉄・東急直通線の開業を目指し、平成28年度は、交差部の受託工事を引き続き実施していきます。

受託工事 全体スケジュール

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
設計						復旧設計	▲開業
交差部工事(その1)	支障物処置等		土留工	路面覆工			
交差部工事(その2)			地盤改良・導坑・仮受・掘削				
交差部工事(その3)						躯体構築	復旧

内訳

- (1) 交差部土木工事(その1) 完成払い
28年度工事内容…路面覆工設置等 …1,060,000千円
- (2) 交差部土木工事(その2) 部分払い
28年度工事内容…躯体貫通地盤改良工、導坑工、掘削工、仮受杭打設 …2,558,000千円



(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン新横浜駅と相鉄・東急直通線との交差・接続に伴う鉄道・運輸機構との基本協定
横浜市高速鉄道3号線新横浜駅と相鉄・東急直通線新横浜駅(仮称)との交差及び接続に伴う工事の施行に関する協定

平成28年度 収益的支出 営業外費用 事業計画書

予算科目	担当
款：02 高速鉄道事業費 目：03 受託工事費	項：03 営業外費用 所属：建設改良課 担当者名：梅田

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 年次表)

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越(外数)						0
事業費	4,558,000	3,618,000				
債務負担設定						0

26年度債務負担設定(～30年度) 9,500,000 千円